



12月の園だより

愛の日

11月26日新潟テルサで開催された「幼児音楽フェスティバル第37回新潟県大会」は、もも組・さくら組の素晴らしい鼓隊演奏・演技をはじめ、県下から23園が参加して盛会裡に終ることができました。

主催は新潟県幼児音楽研究会です。この会は「一人の音楽上手な子どもを作るのではなく、音楽好きなたくさんの子どもたちを育てよう」「音楽を通じて美しい心を育てよう」という共通の願いを持つ県内の保育園、幼稚園が自主的に立ち上げた会です。

松の実は会設立時から会員となり、幼児音楽フェスティバルには、第2回大会から毎年参加して参りました。この大会は各回ともプログラムを載せた記念パンフレットを作成しています。

◇フェスティバル参加にあたって◇
のコラムは、各園の紹介や先生方の思いを伝える内容が多い中で、松の実には違った存在感があると自負して来ました。

正に、出演する子ども達ひとりひとりの心の内が、感謝と思いやりと友情・勇気の言葉で綴られているのです。

「いつも小さいお友達が見に来てくれ、応援してくれました。先生方が涙を流して拍手を送ってくれました。たくさんの人に見てもらったこと、応援してもらったことが自信になり、頑張ることができました。年中（もも組）年長（さくら組）が心をひとつにしてとびきりの笑顔で発表しました。」

これが37回大会を迎えた松の実の子のこころです。

この宣言を遥かに超えて、もも組21名、さくら組23名。ひとりの欠席も無くみんなの心がひとつになって、ひとりひとりが金色に輝く見事なステージを作り上げてくれました。

もも組、さくら組の保護者皆様からの「病気や怪我で欠席させない」という熱い思いの応援、ありがとうございます。

ひよこ組・たんぽぽ組・うめ組の子どもたちからは「憧れる」という、これも燃える思いの応援が続いていましたし、当日の登降園についてのご理解を含めて、全ての松の実応援団に心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

生活発表会が近づいています。優しい眼差し、あたたかい拍手・ママのお胸やパパのお膝。おじいちゃんおばあちゃんあやまの愛しい孫への愛情を、両手でそっと温めるようなまあるい背中――

どうぞ愛を伝える様々な言葉や手立てを駆使して、子どもたちひとりひとりが自分は世界中で一番愛され、一番可愛がられている――と喜び溢れる生活発表会にしたいです。

また、サンタさんが5人も来てくれる松の実恒例のクリスマス会は、生活発表会のすぐ後に続きます。クリスマスプレゼントに託して愛を贈る喜びと、愛を受け取る幸せをつないでくれるサンタクロースの存在を、いつまでも信じられる子どもでいて欲しいと願っています。

なお、クリスマスプレゼントは毎年後援会からいただいています。ナイショのオハナシ：サンタさんは園児のおじいちゃん4人と、交歓会を続けている「おもと園」の相談員さんにお引き受けいただきました。ありがとうございます。

クリスマスを過ぎると街は一転・お正月飾りに変わります。来る年に向けて、「ふれあい広場」で作るカレンダーの1日1日を「愛の